

【凡例】

- ・深浦円覚寺所蔵古典籍、円覚寺過去帳および豊島勝蔵『澗口観音古文書』（西北刊行会、一九八五年）から、各年代における津軽寺社の住持名・僧侶名、神職名を抜書した。
- ・僧名・神職名の後には出典を記した。A～O＋数字は所蔵者整理番号、Q（『澗口観音古文書』）は頁数を記入した。
- ・寺院名がなく僧名のみの場合は備考欄に記した。
- ・神職名は備考欄に記した。
- ・同一資料から複数回出てくる僧名は、一つに絞って掲載した。
- ・松前阿吽寺は、善寿院三世権大僧都法印永階が、阿吽寺末寺慈眼寺住職も勤めたので記載した。

・表中の記号は以下の通り。

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| A…尊岸関係資料群   | J…諸師 3 箱資料群      |
| B…尊海関係資料群   | K…諸師 4 箱資料群      |
| C…義観関係資料群   | L…諸師 5 箱資料群      |
| D…観海関係資料群   | M…諸師 6 箱資料群      |
| E…義圓関係資料群   | N…金比羅堂関係資料群      |
| F…義順関係資料群   | O…卷子関係資料群        |
| G…印信関係資料群   | P…歴代住職他過去帳関係資料群  |
| H…諸師 1 箱資料群 | Q…『澗口観音古文書』関係資料群 |
| I…諸師 2 箱資料群 |                  |

金 剛 山 最 勝 院	岩 木 山 百 沢 寺	連 光 山 大 円 寺	弘前八幡宮 高賀山正伝寺	備 考
				照盛 A92
				行蔵院俊憲・清浄院 4 世勝峯 A49
				永澄・長慶 H13
				元雅 H28
				般若院玉峯英泉 A49

深浦円覚寺所蔵古典籍・古文書による津軽寺社の歴代住持・宮司一覧表

円覚寺責任役員 海浦由羽子

調査中自分の先祖である円覚寺および見入山観音堂守善寿院の僧侶達についても、名が幾つもあり誰なのか、いつの年代にその名を使用したのか、はっきりと分からないことが多かった。そこで円覚寺に限らず、津軽寺社の住持・僧侶・神職名を年代別に表にした。

西暦	元号	年	春 光 山 円覚寺大善院	見入山観音堂守 善 寿 院	弘 前 藤 代 仙 寿 院	松 峰 山 大行院長永寺
1716	享保	元	20世 大越家法印永順  ( ~宝暦5年 10月5日没) P	円覚寺 大善院持ち宮 Q188		
1717	享保	2				
1718	享保	3				
1719	享保	4				
1720	享保	5				
1721	享保	6				
1722	享保	7				
1723	享保	8				
1724	享保	9				
1725	享保	10				
1726	享保	11				
1727	享保	12				
1728	享保	13				
1729	享保	14				
1730	享保	15				
1731	享保	16				
1732	享保	17				
1733	享保	18				
1734	享保	19				
1735	享保	20				
1736	元文	元				
1737	元文	2				
1738	元文	3				
1739	元文	4				

金剛山 最勝院	岩木山 百沢寺	連光山 大円寺	弘前八幡宮 高賀山正伝寺	備考
				栄隆 A85、常明 H11
				国上寺道場朝快 I47
				大応院俊盛 A49
				岩川村蓮光院俊盛・賀楽院天盈 A49
				二井田村真山社天盈・明王院賢納 A49
				小野末葉照鑲 G65
				舜澄房清如 A85
				祐旻・法印祐旭 G219
				諦道栄寿 A28、盛尊 A35、性善 G207
照鑲 Q581				

西暦	元号	年	春 光 山 円覚寺大善院		見入山観音堂守 善 寿 院		弘 前 藤 代 仙 寿 院	松 峰 山 大行院長永寺
1740	元文	5	2 0 世 大越家法印永順 ( ~宝暦 5 年 10 月 5 日没) P		円覚寺 大善院持ち宮 Q 188			
1741	寛保	元						
1742	寛保	2						
1743	寛保	3						
1744	延享	元						
1745	延享	2						
1746	延享	3						
1747	延享	4						
1748	寛延	元						
1749	寛延	2						
1750	寛延	3						
1751	宝暦	元						
1752	宝暦	2						
1753	宝暦	3						
1754	宝暦	4						
1755	宝暦	5						
1756	宝暦	6	2 1 世 権大僧都法印永春 ( ~寛政 8 年 9 月 29 日没) P					
1757	宝暦	7						
1758	宝暦	8						
1759	宝暦	9						
1760	宝暦	10						
1761	宝暦	11						
1762	宝暦	12						
1763	宝暦	13				法印永隆 G180		
1764	明和	元						
1765	明和	2						
1766	明和	3						
1767	明和	4						
1768	明和	5						
1769	明和	6						

金剛山 最勝院	岩木山 百沢寺	連光山 大円寺	弘前八幡宮 高賀山正伝寺	備考
				宥實・永義 A27
				小野若狭・長利薩摩 Q550、工藤伊賀 Q556
				盛尊 A37
				小野若狭・長利薩摩 Q561
				隆昌・慶明 G184
				洞山東之坊 G189
				一如房朝胤 A8、苾芻慧海 A35
				快道 A10
				覺心・大僧都亮寒 A35
				朝胤 A10、性善・剛宝・盛尊・宥實・鏝堯 A27、慈眼院盛尊 A37
				實文・鏝堯 A91、永恭・権僧正朝胤 G178、慈観 H26
				仙光坊 I84、社人頭小野若狭・長利薩摩・工藤大隅 Q96
				小野若狭 Q28、工藤加賀 Q29
				永補・権僧正朝胤 I10、小野若狭・長利掃部・小野筑前・長利豊前 Q577、山辺伊豫・箱田相模・工藤右仲・奈良蔵人・斉藤右門・工藤豊後・工藤加賀 Q31、工藤右膳 Q32

西暦	元号	年	春 光 山 円覚寺大善院		見入山観音堂守 善 寿 院		弘 前 藤 代 仙 寿 院	松 峰 山 大行院長永寺
1770	明和	7	2 1 世 権大僧都法印永春		円覚寺大善院 持ち宮 Q 188			
1771	明和	8						
1772	安永	元	( ~寛政 8 年 9 月 29 日没) P		開基永慶  (寛保元年～ 文化 12 年 12 月 29 日 没 ) P	永慶 Q188		
1773	安永	2						
1774	安永	3						
1775	安永	4						
1776	安永	5						
1777	安永	6						
1778	安永	7						
1779	安永	8						
1780	安永	9						
1781	天明	元						
1782	天明	2						
1783	天明	3						
1784	天明	4						
1785	天明	5						
1786	天明	6		尊岸 G57		永道 G148		
1787	天明	7						
1788	天明	8						
1789	寛政	元						
1790	寛政	2						
1791	寛政	3		仙覚 I65				
1792	寛政	4		尊岸 G61				
1793	寛政	5						
1794	寛政	6						
1795	寛政	7						
1796	寛政	8						

金剛山 最勝院	岩木山 百沢寺	連光山 大円寺	弘前八幡宮 高賀山正伝寺	備 考
				心応院快倒・理観 A171、地藏院長照法印 H71
				真性 A8、宥實 A10、永補 G64
				玄識房鏤堯 A10、宥實 A27、朝應・愛染院宥實 A37
				玄識房鏤堯 I13
一如房朝胤 A26			玄識房鏤堯 A26	法印朝啓 G138、覺心 H14
				朝胤 I7、普歆 Q599、
				権僧正法印大和尚位朝胤 G105、権中性院朝啓 G113
				祐啓 G213
				全戒 B38
				寛明・亮寛 A123
密乗院権僧正 朝胤法印 A24				三無差庵海成 I72
権僧正朝胤一 如房 Q623		鏤堯 G141		大塚寺尊英・龍光院七世子龍尊興 A49、永朝 G41、 真性 G139
				鏤堯 G143
		鏤堯 A10		豊愛染院主宥實 A10

西曆	元号	年	春 光 山 円覚寺大善院		見入山観音堂守 善 寿 院		弘 前 藤 代 仙 寿 院	松 峰 山 大行院長永寺	
1797	寛政	9	2 2 世 権大僧都法印清貞  (      ～享和 3 年 7 月 14 日没) P		開基永慶  (寛保元年～ 文化12年12月 29日没) P				
1798	寛政	10							
1799	寛政	11							
1800	寛政	12							
1801	享和	元							
1802	享和	2				永道 G145、 有慶 G150			
1803	享和	3				永道 G146			
1804	文化	元	2 3 世 権大僧都法印永清  (      ～天保 5 年 2 月 6 日没) P				善寿院二代 鳳臺院 I75		
1805	文化	2							
1806	文化	3							
1807	文化	4					不観房 I49	権大僧都永精 P	
1808	文化	5							
1809	文化	6							
1810	文化	7							
1811	文化	8					宥慶 G162	権大僧都法印 永隆 P	
1812	文化	9				尊岸 A102	鳳臺院 I72		
1813	文化	10					鳳臺院 Q612		
1814	文化	11				尊岸 A182			永朝 A27
1815	文化	12					永慶 P		
1816	文化	13			2 世 権大僧都法印 永道	鏤明 Q616			
1817	文化	14				鏤明 Q617			
1818	文政	元		智教房尊岸 A15					
1819	文政	2		智教永礪 A5	(安永 7 年～ 文政 4 年 7 月 20 日没) P	不観房鏤明 G140		役 僧 宝 蔵 院 Q620	
1820	文政	3				永道 A56、 鏤明 Q625		永朝 A49	
1821	文政	4		智教房尊岸 A7		永道 P		永 仙 ・ 永 朝 A131、鏡 鏤 宥湃G69	



金剛山 最勝院	岩木山 百沢寺	連光山 大円寺	弘前八幡宮 高賀山正伝寺	備考
		鑲堯 A11		津軽薬王院法印覚範 A11
				法院鑲堯 A22、小野若狭・長利岩尾・山辺伊豫 Q43
				山本坊朝俊 H4、堯専 N5
				弘賢 I25
				菅井日向・森田宮本駿河 Q58、藤井河内・小笠原対馬・阿部和吉・有馬亦吉・有馬駿河・浅利多門・芝田対馬・宝教院御房・阿保近江・地福院御房・田川信濃・柿崎伊勢・柿崎伊豫・柿崎伯耆・密蔵院御房・蓬珠院御房・柿崎播磨・劔蔵院御房・大応院御房・佐藤讃岐・沢田周防・沢山民部・竹本伯耆・有馬能登・沢田左門司・宝勝院御房・有馬兵部・比山筑前・沢田殿内・尾崎伊豆・工藤駿河・工藤石見・平間上野・木村相模・小野信濃・工藤伊賀・工藤讃岐・工藤近江・箱田対馬・奈良正宮・奥口遠江・奈良播磨・斉藤信濃・工藤豊前・工藤周防・工藤豊後・工藤竹三郎・長見豊前・斉藤備後・佐藤作衛 Q59
				法印長澄 G183、永須二代永専・永濤 I31
				松前阿吽寺法印寛山 A123、禎山・天台宗大僧都覚因 G182、太夫頭小野若狭 Q88、当所神明宮司工藤修理・同所愛宕宮司工藤豊前・社家頭小野若狭 Q101
				法寿智海・眼海 N3

西暦	元号	年	春 光 山 円覚寺大善院		見入山観音堂守 善 寿 院		弘 前 藤 代 仙 寿 院	松 峰 山 大行院長永寺
1822	文政	5	2 3 世 権大僧都法印永清  ( ~天保 5 年 2 月 6 日没) P	役氏沙門尊岸 A92	3 世 権大僧都法印 永階  (文化 10 年～ 天保 14 年 11 月 5 日 没) P			永朝 A45
1823	文政	6						
1824	文政	7		智教房尊岸 A81、春光山 後住尊岸A111				永朝 A6
1825	文政	8		智教房尊岸 A67		光運房 Q43		
1826	文政	9		春光山尊岸 A177				
1827	文政	10		容延 Q47、 大善院 23 世永 清法印代 Q48		光運 Q48		
1828	文政	11		智教房尊岸 A187、寿生 亭松月 A192				
1829	文政	12		大善院後住智教 房尊岸 A154、智 教房松月 A194				
1830	天保	元		智教房 A179				
1831	天保	2		現住尊岸 Q62		光運御房 Q59		
1832	天保	3	2 4 世 伝燈正先達大越家 法印尊岸  (享和 3 年～明治 5 年正月 13 日没) P	大越家尊岸 A48、春光 山永清 Q65		永階 I6		永朝 A49
1833	天保	4		智教房尊岸 Q71		永階 I56		
1834	天保	5		尊岸 Q76、容延 Q83、永清 Q84		善寿院永階 I75		
1835	天保	6		尊岸 G79		永階 G166		
1836	天保	7				永階 I 18		
1837	天保	8				花月見入山 栄階 I60	法師長淳大徳 P	

金剛山 最勝院	岩木山 百沢寺	連光山 大円寺	弘前八幡宮 高賀山正伝寺	備考
				寛周朝海 B9
				攝道法師 G167、当所神明宮社司工藤豊雄 Q94
				当所社人工藤豊雄 Q102
				工藤豊雄 Q105
				閑山 B47、松峯閣門人菅原玉英 B54
				徳明房常應・法寿智海 H7、栄俊 I30
				小森長寿院・紙漉沢常照院・湯口村方行院跡彦左衛門・国吉学隆坊・仙明坊・八大院・重太郎・儀存坊 Q107（連名につき寺院名のみも記載）
朝堅 Q117				工藤豊雄・工藤上総 Q117
	朝海 B19			
				假名照教実名寿海 L26

西暦	元号	年	春 光 山 円覚寺大善院		見入山観音堂守 善 寿 院		弘 前 藤 代 仙 寿 院	松 峰 山 大行院長永寺
1838	天保	9	2 4 世 伝燈正先達大越家 法印尊岸  (享和 3 年～明治 5 年正月 13 日没) P	大善院現住 大越家尊岸 Q90	3 世 権大僧都法印 永階  (文化 10 年～ 天保 14 年 11 月 5 日没) P			
1839	天保	10		尊岸 Q93				
1840	天保	11		春光山院主 尊岸 Q100		永階 G167		
1841	天保	12		容延・尊岸 G80				
1842	天保	13						
1843	天保	14		容延房尊精 G75		永階 P	祥屋良雲信士 P	八世栄朝・松 峯閣主人樂山 B47
1844	弘化	元		大善院智教房 大越家尊岸 Q107	中絶にて俗家 につき円覚寺 大善院で取扱 Q188	仮名光淳 実名永隆 I30		
1845	弘化	2		容延房尊精 B36		善寿院跡光 淳坊 Q108		
1846	弘化	3		容延房尊精 B28				
1847	弘化	4		春光山人松 濤斎 B58				
1848	嘉永	元		尊岸 A170				
1849	嘉永	2		容延房尊海 B9、 尊精改名尊海 B19			永真 P	
1850	嘉永	3						栄俊・明尊 Q125
1851	嘉永	4		興隆院尊海 B4		見入山観音別 当善寿院兼大 善院 Q124		当山派触頭 明尊 Q125、 永朝 Q126
1852	嘉永	5		興隆院尊海 B53				
1853	嘉永	6						
1854	安政	元						
1855	安政	2						
1856	安政	3		法印尊海 B18				

金剛山院 最勝院	岩木山 百沢寺	連光山 大円寺	弘前八幡宮 高賀山正伝寺	備考
				御流神道玉水派七世仏子妙海 A66
				恵海 I93
				忍海・権大僧正法印智海 G174
				寿海 I34
				法船主 H8、密乗坊・教円寺二代和光院 Q151
	莽徳蔵坊 Q156			
法船坊寿海 A29				
法印妙海 A43				
				胎蔵院二代教運房・内真部村義行坊 Q164
				法印権大僧都妙海 C 53、工藤壱岐 Q185
	福寿坊寿海 G83			大聖院・法寿院・覚応院・八代院・蒔苗般若院・寛行院・大川正善房・石野蓮正房・小森貞山房 Q238 (連名につき寺院名のみも記載)
				来生寺住職園村義方 Q246、詞掌工藤安積・工藤茂穂 Q259、宝泉寺住璞培法・莊厳寺住稲岡慈山 Q260
多田寿海 Q304				四大区触頭園村義方 Q283、唯教日心・蓮堂喜順・古館円成・祖田隆芳 Q293

西暦	元号	年	春 光 山 円覚寺大善院		見入山観音堂守 善 寿 院		弘 前 藤 代 仙 寿 院	松 峰 山 大行院長永寺
1857	安政	4	2 4 世 伝燈正先達 大越家法印尊岸  (享和 3 年～明治 5 年正月 13 日没) P	円覚寺現住 尊岸 Q175	中絶にて 俗家につき 円 覚 寺 大 善 院 で取扱 Q 188			
1858	安政	5		春光山人 松涛斎 B45				
1859	安政	6						
1860	万延	元						
1861	文久	元		尊岸 A8				
1862	文久	2		大善院尊岸 A135、 義観房 C101				十世明尊 A11
1863	文久	3						
1864	元治	元						
1865	慶応	元		尊岸 A9、 義観坊 G86				
1866	慶応	2		興隆院法印 尊海 B20				
1867	慶応	3		尊岸 A6、 尊海 B8				
1868	明治	元		尊岸 A43、 義観秀海 C17				
1869	明治	2		尊海 G82、 義観房 Q164				当院二男繁太郎 Q164
1870	明治	3		義観房秀海 C20				
1871	明治	4		二代義観御坊 Q209			渡辺唯世 Q204	大 行 院 事 宇 庭 光 海 4 月 12日神職とな り天満宮司に Q205
1872	明治	5	2 5 世 正大先達阿闍梨法印 尊海  (文政 10 年 2 月 28 日～明治 25 年 6 月 25 日没) P	法印尊海 B20、 海浦尊海 Q237、 義観房 Q238	4 世 義順 ( 慶 応 元 年 5 月 5 日～明 治 29 年 6 月 23 日 没 ) P	見元義順 Q237		
1873	明治	6		海浦尊海 Q259		見元義順 Q256		
1874	明治	7		海浦尊海 B1、 義観 Q277		見元義順 Q278		

金 剛 山 最 勝 院	岩 木 山 百 沢 寺	連 光 山 大 円 寺	弘前八幡宮 高賀山正伝寺	備 考
手塚宥龍 Q343				莊嚴寺稲岡慈山・浄念寺今大路智眼 Q324
真言宗取締権 少講義手塚宥龍 Q375				日蓮宗取締中講義協日熙・曹洞宗取締小講義璣喚山・ 天台宗取締訓導柏道広・佐藤法隆・上野弘善・蒔苗 一環・豊田宥恩 Q376
				権訓導千葉専海・試補川島朝盛・権訓導工藤朝舜・ 試補成田定光 Q379
手塚宥龍 Q430				権訓導鹿内専海・権訓導工藤朝舜・試補川島朝盛・ 試補上野弘善・試補柏木朝寿・試補成田定光・石田 久雄・石田教円・岩谷善定・藤岡仙吾 Q430
手塚宥龍 Q437				鹿内専海 Q437
				因内山旭蓮・与祐宣僧正 C 34

西暦	元号	年	春 光 山 円覚寺大善院		見入山観音堂守 善 寿 院		弘 前 藤 代 仙 寿 院	松 峰 山 大行院長永寺
1875	明治	8	2 5 世 正大先達阿闍梨 法印尊海  (文政10年2月28日 ～明治25年6月25日 没) P	海浦尊海 B43	4 世 義順  (慶応元年5月 5日～明治29 年6月23日没) P	見 元 義 順 Q332		
1876	明治	9		海浦尊海 Q351				
1877	明治	10		海浦尊海 Q379				
1878	明治	11		海浦 B49、 海浦尊海 Q392		義順 G170		
1879	明治	12		尊海 F1		義順 F 1		
1880	明治	13		海浦尊海 Q414、 海浦義観 Q421				
1881	明治	14		権大僧都法 印海浦尊海 B50、 海浦義観 C3		見元義順 Q427		
1882	明治	15		海浦尊海 Q431				
1883	明治	16		海浦尊海 B17、 義観 Q439		見元義順 Q435		
1884	明治	17		海浦尊海 Q446、 義観 Q452				
1885	明治	18		祐海・祐浄 L41、 海浦観海 D46				
1886	明治	19		海浦尊海 B3、		義順 F5		
1887	明治	20						
1888	明治	21		海浦観海 D8、 海浦尊海 Q435				
1889	明治	22		尊海 B21		義順 F6		
1890	明治	23		義観 C34				
1891	明治	24						
1892	明治	25						





西暦	元号	年	春 光 山 円覚寺大善院		見入山観音堂守 善 寿 院		弘 前 藤 代 仙 寿 院	松 峰 山 大行院長永寺
1893	明治	26	2 6 世 篤学院伝燈大阿闍梨 中僧正義観  (安政 2 年 11 月 26 日～大正 10 年 7 月 28 日没) P	観海 D291	4 世 義順 (慶応元年 5 月 5 日～明治 29 年 6 月 29 日没) P  中絶にて俗家 につき円覚寺 大善院にて管 理			
1894	明治	27		海浦観海 D50				
1895	明治	28						
1896	明治	29		観海 G 99				
1897	明治	30						
1898	明治	31		観海 D32				
1899	明治	32		義観 C21				
1900	明治	33		海浦義観 C99				
1901	明治	34		仏子観海 D3				
1902	明治	35		海浦観海 D5				
1903	明治	36		海浦観海 D12				
1904	明治	37		海浦観海 D11				
1905	明治	38						
1906	明治	39		観海房 D4				
1907	明治	40						
1908	明治	41		海浦義観 C146				
1909	明治	42						
1910	明治	43						
1911	明治	44						
1912	明治	45		海浦義観 O10				
1913	大正	元		海浦義観 C64				
1914	大正	2		海浦義観 C32、 観海 C37				
1915	大正	3		海浦義観 C83				
1916	大正	4		海浦義観 C84				
1917	大正	5						
1918	大正	6		義圓 E4				
1919	大正	7		義圓 E5、 義観 G196				
1920	大正	8						
1921	大正	9						
1922	大正	10						

- ・寸法は、縦×横を糎で小数点第一位まで記した。
- ・丁数・紙数は、それぞれ数量を記した。
- ・装訂は、冊子や一枚物などの区別をし、袋綴・折本などの装訂を記した。
- ・備考の欄には、奥書、識語、表紙の署名、蔵書印などを記した。
- ・漢字表記は通行の字体に改めた。
- ・虫損などによる不読文字は□、[ ] で示した。
- ・梵字は、@と仮に示し、( ) 内に片仮名表記を行った。
- ・小書き・割書は〈 〉で表記し、改行は／で示した。
- ・奥書などに記される返点・送仮名・振仮名は省略した。

備考（奥書・所持者・印記など）
奥書に「於醍醐寺報恩院前大僧正寛濟空下令伝受砌則／御本申請於宿坊下之坊再遍校合之畢／役氏永礪」とあり。表紙に「尊岸」の朱方印あり。
表紙に「役氏永礪」と墨書あり。表紙に「尊岸」の朱方印あり。奥書なし。
表紙に「尊岸」の朱方印と、不読印「□□」あり。末尾に「役氏永礪」と墨書あり。奥書なし。
表紙に「役氏沙門永礪」と墨書あり。表紙に「尊岸」の朱方印あり。奥書なし。
表紙に「文政二巳卯年閏四月吉日」「智教書」とあり。上巻末に「智教／永礪写」とあり。下巻末に「智教永＝写之」とあり。表紙・巻尾等に「尊岸」の朱方印あり。
表紙に「醍醐東谷ヨリ伝来」、外題下に「五拾六通」とあり。本文中に多数の和歌あり。奥書に「元禄三〈庚午〉年如月十八日書写畢／秋田釈快隆写之／文政七〈甲申〉年／三月十三日書写伝授津軽深浦／春光山智教房尊岸／松峯山大先達法印／永朝示之／慶応三〈丁卯〉年十月十一日 春光山圓覚寺／尊岸再写」とあり。
表紙に「津軽深浦春光山圓覚寺現住尊岸」とあり。奥書に「寛保二〈壬戌〉年六月十八日書写畢／／文政四〈辛巳〉年初冬書写伝授／行年十九歳／智教房尊岸／文久元〈辛酉〉年五月十三日五十九歳ニテ／法印尊岸再写之／津軽深浦春光山蔵書」とあり。表紙・裏表紙に「役氏」の朱円印、「尊岸」の朱方印あり。
表紙に「右大事ハ秘中[ ]／千金莫伝唯[ ]」「春光山圓覚寺法印尊岸」とあり。表紙に「役氏」の朱円印、「尊岸」の朱方印あり。④奥書に「寛政十〈戊午〉八朔金剛乗搜術沙門／真性／／天保六〈乙未〉年十一月 法印尊岸」とあり。⑦奥書に「伝燈阿闍梨苾芻慧海〈授与〉某／天明六〈丙午〉年仲秋六日携筆〈一如房〉朝胤／右消除火災法〈火災ノ時行之。鎮火ニ成ル〉／火生三昧秘法伝授〈授与〉尊岸／文政五〈午〉年五月／阿闍梨法印永朝示之／／文久元〈辛酉〉年／林鐘十二日 津軽深浦／春光山圓覚寺／尊岸」とあり。
表紙に「春光山圓覚寺尊岸」とあり。④末に鳥居の図絵あり。④奥書に「慶応元〈乙丑〉年閏五月四日／津軽深浦／春光山圓覚寺／現住尊岸／六十三歳ニテ再写之」とあり。表紙・奥書に「役氏」の朱円印、「尊岸」の朱方印あり。